

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	意思決定科学・法哲学・脳科学の連携による「正義」の行動的・神経的基盤の解明	
研究総括	亀田 達也	
所属機関・部局・職	北海道大学・大学院文学研究科・教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>非常に明確なテーマを設定し、そこに人文的アプローチ、数理モデル、脳科学を融合させて、新しい研究領域を創造しつつある。また、既に有力な国際学術誌などに研究成果を発表するとともに、講演やワークショップ、シンポジウムで本研究の成果を公表しており、高く評価できる。</p> <p>今後の研究計画も実現可能性が高く、各分野の連携も十分とれており、今後の発展が大いに期待できる。</p> <p>なお、強化学習理論のシミュレーションが研究されている人工知能分野と連携することにより、更なる研究の進展が期待できると思われる。</p>		